

しみずっこ新聞

平成28年1月発行 第70号 清水学園付属幼稚園

2016年・申年（さるどし）がスタートしました。申年は、“さる→去る”という意味を表し『悪いことが去る』『病が去る』など、良いことや幸せがやってくる年だそうです。今年は園舎建て替え工事もあり、幼稚園にとって変化の年になります。建て替えには、少し寂しい気持ちもありましたが、“幸せがやってくる”と聞き、「幼稚園のみんなの幸せに向けての第1歩なんだ…」という新たな気持ちを持つことができました☆ 本年もどうぞよろしくお願いたします！



例年よりも温かかった冬休みが終わり、いよいよ1年の最後の学期が始まりました。始業式に集まった子ども達に「幼稚園がはじまって、嬉しいな〜って思ってる子〜？」と質問すると、にこにこ笑顔と共に「は〜い！」というものすごい大きなお返事が聞こえました。夏休み明けには久しぶりの登園にメソメソしていた子も、この休み明けには、みんなと一緒に元気な様子で登園して来る姿が見られ、その子なりの一步一步の成長が嬉しい朝でもありました。始業式では、園長先生から進級・進学についてのお話がありました。来年度を見据えた指導も少しずつ行っていきます。毎年この時期になると、進級・進学を楽しみにする反面、「大丈夫かな…」と心配になってしまう子がいるようですが、新しい環境になる時には、ワクワクする気持ちと心配になる気持ち…両方あるんだよ…ということを伝えながら、自信を持って4月を迎えられるようにしてあげたいと思います。3学期…私が子ども達に教えていきたいと思っていることは“生きる力”です。『はなちゃんのみそ汁』というお話をご存知ですか？がんで残り少ない命を覚悟したお母さんが、5才の娘さんにみそ汁の作り方を教え、“生きる力”を残したというお話です。

「どうしよう？」と困った時に、ただ泣くのではなく、自分で考え・自分の力で行動できる力を身につけていることが、新しい環境への、何よりも武器になると思うのです。“生きる力”…ぜひ、教えてあげてください☆



☆作品展に向けて☆

2/6(土)の作品展に向け、作品作りが始まりました。
各教室には個人作品を、ホールには全クラスの子も達が
力を合わせて作った共同作品を展示いたします。

今年度のホール共同作品のテーマは

「ひらつか七夕まつり」

いったいどんな作品に仕上がるのでしょうか？

どうぞお楽しみに！

※『作品展直前 特大号!』を発行予定です。



☆お知らせ☆

ニュース等で耳にするノロウイルス…。今後、全国的に流行してくるであろうインフルエンザ…。1/14現在、清水幼稚園では、ノロウイルス・インフルエンザにかかっている子はおりませんが、今後、感染した子が出た際には、流行の拡大を少しでも早く防ぐため、情報をお手紙にてご家庭にお知らせしていきます。

短い3学期…みんなで気をつけて、お休みする日を少なくしていきたいですね！

冬場の体育ローション

冬場は霜がおりて運動場がぬかってしまうため、マット等の体操器具が出せない日があります。そんな日は、体育ローションの代わりに“マラソン”を行います。

寒い季節こそ体を動かし、一日を元気にすごしていきたいと思います。



職員室の中にある水槽で飼っていた、どじょうの『やながわくん』が、始業式の日の朝、天国に逝きました。かれこれ10年以上も前から清水幼稚園の一員として共にすごしてきた、かわいい“やながわくん”でした。始業式で子ども達にもお話ししました。

私は箱根駅伝が大好きで、毎年、134号線の沿道に立って応援しています。選手がすぎた後は急いで帰宅し、テレビに釘付け状態で残りのレースを見守るのですが、9区に入った時、何気なく聞こえた先導の白バイ紹介のアナウンスに、懐かしい名前が聞こえてきました…。

なんと！青山学院を先導していた神奈川県警の白バイ隊の一人が、私の教え子だったのです！

警察官になったことは聞いていたのですが、まさかテレビに映るとは…。年明け早々、びっくりぽんな出来事でした(^o^)

次号【作品展直前 特大号】をお楽しみに☆ 富田